

ワールド・コラボ・フェスタ 2014 に「愛知県立大学国際関係学科」ブース出展！

2014年10月25日(土)、26日(日)、名古屋・栄で開かれた「ワールド・コラボ・フェスタ2014」(主催:同実行委員会)に、愛知県立大学国際関係学科が参加、ブース出展を行いました。秋の日曜日、公園での国際交流や異文化理解のひとつを楽しむ多くの方がたに本学のブースを見学してもらい、有意義な学びと交流の機会となりました。

ワールド・コラボ・フェスタとは、国際交流・国際協力・多文化共生などをテーマとした、中部地方最大級の国際交流イベントです。毎年秋に名古屋中心部の栄で開催され、2014年で第11回を迎えます。毎年、10万人ほどの来場がある大規模な行事です。国際関係学科としては、2013年の初参加に続き、2回目の参加となります。

■国際関係学科の学生課外活動として実施

昨年の出展は、「グローバル人材育成プログラム」が設置する「インターンシップ」科目としての実施でしたが、「インターンシップ」科目の運用基準が変更されたことから、今年は学生有志による課外活動の形をとりました。

6月から、学科2年生たちが中心となって参加の検討を開始しました。合計13名の国際関係学科学生のフェスタ実行メンバーが集まり、企画、準備を進めました。



■学生によるブース紹介(吉岡優希[国際関係学科2年])

去年、初めて愛知県立大学外国語学部国際関係学科として出展した国際協力・国際交流のイベント、ワールド・コラボ・フェスタ。今年は、フィリピン・カンボジアで活動しているいくつかの団体の力になれば、という思いからそれらの団体の販売している商品の委託販売を中心としたブースを出展します。

カンボジアで活動している、かものはしという団体は雇用産出を目的とし、い草を用いた商品を取り扱っています。フィリピンの子供たちのために活動している、幼い難民を考える会はきれいな色の布であらゆる商品を作っています。カンボジアで孤児院にいる子供たちの支援のために活動している団体は数種類のミサンガを編んでいます。

その他にも、このイベントのメンバーでもある学科生がフィリピンとカンボジアでそれぞれインターンシップをした際に訪れた工場のキャンドルと石鹸のセットやプレスレット、バスソルトやハンドクリーム。さらに、国際関係学科の亀井先生が夏にアフリカのブルキナファソに行ったときに地元の聴覚障害を持った男性が開いているお店で買ってくださったキーホルダーや、学科生が留学や旅行、インターンシップなどで海外に行った際に撮ってきた写真を使ったポストカードなど、たくさんの素敵な商品を揃えてお待ちしております。

■おもな成果と課題

当日は晴天に恵まれ、約1,500人のブース来場客(本学の受験を希望する高校生たちやその保護者を含む)を迎えることができました。また、昨年、大学や学部についての質問が多く寄せられたという経験から、今年は大学案内や学部案内のパンフレット配布を行いました。パンフレットが欲しいというお客さんが来たり、それを示しながら学生スタッフが大学の説明をしたりというふうに、学生たちの取り組みが効果的な大学広報活動の機能をあわせもつ結果となりました。

フェスタ終了後の11月14日(金)、最終の総括会合をもち、今回の事業の達成と課題につい

て話し合う機会をもちました。そこで参加学生たちから出たおもな意見は、次の通りです。

【成果】

- ・ 来場者に県大について知ってもらえ、県大のPRにつながった
- ・ 学生それぞれの個性ある多様な取り組みを持ち寄り、ひとつにして紹介することができた
- ・ 学生主体の企画、運営を高く評価する意見が相次いだ

【課題】

- ・ 恒常的に特色ある活動をしているNGOなどのブースが多い中、学生として出せる特色や専門性の面で限界もあったのではないかと
- ・ ブースのレイアウトやデザイン、品選びや価格設定などに、いっそうの工夫ができた
- ・ 多くのお客さんに足を止めて見てもらえるような特徴を、さらに出せたらよかった

■学生による実施報告(小林さくら[国際関係学科2年])

みんなのおかげで素敵なブースが出来上がり、両日ともにたくさんの来場者にお立ち寄り頂きました。他大学の教員、県大の卒業生、他のブースの方など、様々な人とお話をすることができました。

私自身も他のブースにお邪魔して、いろいろな話を聞いてきました。勉強になる話、世界の諸問題について考えさせられる話ばかりでとても刺激を受けました。

準備期間からワールド・コラボ・フェスタ当日まで大変なことはたくさんありましたが、こうしてみんなと参加することができて良かったと心から思います。

イベント出展は初めての体験で、なにをすればいいかもわからない状態でした。ですが、若さと勢いで乗り切り、やろうと思えばなんでもできるんだという自信ができました。学生のあいだも社会人になってからも、様々なことに挑戦し、なにかを学び続けていきたいな、と未熟ながらに思いました。

■今後に向けて

他大学では、学外のこのような活動を正課として位置づける「ボランティア活動単位制度」が導入されている事例もあります。今回の達成は、それを検討するためのひとつのよいモデルケースとなったと言えるでしょう。

今回は、学生の課外活動として実施しましたが、将来的には、さまざまな学外活動の奨励、問題解決型授業の企画、フィールドワーク実習の振興、社会体験における学びの場の提供、教員の教育スキルアップ、大学広報戦略など、さまざまな要素を考えあわせながら、よりよい教育の制度のあり方を検討していきたいと考えています。そして、学生のみなさんの一層の参加と活躍を期待したいと思います。



■ワールド・コラボ・フェスタ 2014 概要

【日時】2014年10月25日(土)～26日(日)10:00～18:00

【会場】オアシス21「銀河の広場」

地下鉄「久屋大通」駅、地下鉄「栄」駅、名鉄瀬戸線「栄町」駅から徒歩数分

【主催】ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会

公益財団法人名古屋国際センター(NIC)、公益財団法人愛知県国際交流協会(AIA)、独

立行政法人国際協力機構中部国際センター(JICA 中部)、なごや国際交流団体協議会(NIA)

■関連リンク

ワールド・コラボ・フェスタ 2014

<http://www.world-collabo.jp/>

愛知県立大学国際関係学科学生公式ブログ

<http://kendaikokusai2012.blog.fc2.com/>

【文責】 亀井伸孝 (愛知県立大学国際関係学科教員)

【ブース出展グループ】 阿南ひかる、北野美月、木戸志緒子、小林さくら、鈴木瑞菜、平野由加里、増田実和、★吉岡優希、大橋里奈、神田萌々子、児玉あゆみ、田中万智、渡部汐里 (以上、国際関係学科学生 13名) ★=グループ代表